

関西武夫原会

会計監査 園川 隆秀 (法 28 回卒)

平成24年度からスタートした関西武夫原会の春・秋実施のハイキングも3年目を迎え、春は、平成26年4月6日(日)、大阪に近い京都の八幡市、石清水八幡宮とその麓の背割堤で、男女7名が参加し、お花見を楽しみました。特に、1.4キロメートル続く背割堤の遊歩道は桜のトンネルで圧巻でした。秋は、11月24日(月)に大阪府北部にある箕面公園を散策しました。参加者は過去最高の15名で、教育学部からも2名が参加、さながら関西連合同窓会(11月29日開催)のプレイベントになりました。

関西武夫原会のメインイベントである総会・懇親会は、9月6日(土)、久しぶりに由緒ある太閤園で行なわれ、第1回生から第62回生までの会員が集い、まさに親、子、孫世代が一同に会した総勢88名参加の素晴らしい同窓会になりました。また、今総会の臨時役員改選で、第16回生の本島昭男氏が四代目の会長に就任され、新たな体制での懇親会となり、大変な盛り上がりを見せました。平成27年も同じく太閤園で9月5日(土)に開催を予定しており、多くの会員の皆様のご参加をお待ちしています。

11月29日(土)には、第4回となる関西連合同窓会が188名の参加者を得て、太閤園で盛大に行なわれました。関西武夫原会からは、くまモンバッジをつけた40名が参加し、会員同志の絆と他学部との垣根を超えた交流を大いに深めました。講演会では、谷口学長から「100年後も輝く世界の熊本大学を目指して」というパワー溢れるお話を、稲葉教授から荒波を乗り越えてきた細川家700年の歴史という貴重なお話を頂き、参加者全員、大変勉強になりました。また、次回の開催が2年後となることや、谷口学長が平成27年3月で任期により退任されることもあり、医学部に助教授として在籍されていた平野俊夫大阪大学総長が特別来賓として参加されました。

以上のように平成26年度は充実した1年でした。詳しくは関西武夫原会ホームページ(<http://kansai-bufugenkai.net/>)を是非ご覧ください。

(そのかわ たかひで)

